



わくわく 体験教室

7~8月

社会福祉協議会が主催する「わくわく体験教室」は、福祉体験のプログラムを用意し、小学生または親子が老人福祉施設を訪問したり手話や点字を体験したりするものです。今年も、約330人が参加し、福祉を理解する良いきっかけとなったようです。



アトリエ ちびくろ 夏まつり

7~8月

武蔵野美術大学のサークル「アトリエちびくろ」が、毎年、岩間体験学習館(旧第一分校)を会場に図工教室を行っています。今年も、東京や市内から約100人の小学生が集まり、工作活動だけにとられず、小学生と大学生がいっしょになって、泥のプールに入ったり手づくりの祭りを行ったりしました。

夏祭り

7~8月

今年の夏も、市内各地で夏祭りが開催されました。威勢のいい掛け声とともに担ぐ神輿や色鮮やかな花火、そして多くの露店が出ました。



夏休み日記

今年の夏、市内各地でいろいろなイベントが催され、子どもたちが多くのことにチャレンジしました。これらの体験を通して、子どもたちは一つ成長しました。その一部を紹介します。



涸沼川 探検隊

7/25

7月25日、涸沼川の水質や水辺の生物調査をする涸沼川の観察会が開催されました。当日は、小学生26人、大人10人の計36人が参加し、城里町の源流から涸沼まで、サワガニやカワニナなどの生物を観察しました。



親子 料理教室

8/2

笠間保健センターで、8月2日、「親子料理教室」が開催されました。当日は、小学生と親を合わせて30人が参加し、食生活改善推進協議会笠間支部の指導のもと、夏の食材を使っていなり寿司やスイカのフルーツポンチなどを作りました。



赤ちゃん ふれあい フェスタ

7/26

笠間保健センターで、7月26日、中学生を対象とした「赤ちゃんふれあいフェスタ」が開催されました。この事業は、命や家族の大切さを考える場になりたいと実施されているもので、中学生は、戸惑いながらも赤ちゃんを抱っこしたり妊婦体験をしたりと、貴重な体験ができたようです。



忙しいパパの 夏休み子育て 日記

8/6

夏休みの1日をお父さん、お母さんと一緒に過ごすこと、8月6日、笠間クラインガルテンに12組の親子が集まりました。当日は、昼食のおにぎりや豚汁を協力して作ったり、木工細工でカブトムシを作ったりして、楽しんでいました。



どろりん ピック

7/30

7月30日、中市原の休耕田を利用して、泥の中でゲームなどを行う「どろりんピック」が開催されました。この催しは、かちゅうかい下市原・中市原地区の有志で構成された下中会の主催によるもので、今年で11回目を迎えました。当日は、子どもから大人まで全身泥だらけになって、楽しい1日を過ごしました。



サマー スクール

7~8月

夏休み中の学校外での体験を通して、想像力や精神力などを培い、仲間づくりをすることを目的に、小学生を対象とした「サマースクール」が、笠間公民館を主会場として開催されました。その一つとして、7月26日には、おやつスナック教室が行われ、食生活が乱れる中、食べることの大切さを学びました。